

1 令和2年度 青梅市中学校10校の共通要望

(1) 各校におけるトイレの環境改善および改修

(回答)

青梅市では、厳しい財政状況の中、平成29年度から令和5年度までに、小・中学校25校の校舎内の利用頻度の多いトイレを選択し、計画的にトイレ改修工事を実施しております。

令和2年度は、吹上小、第一中、吹上中、第六中の工事を実施するなど段階的にトイレ改修工事を実施しました。御理解をいただきますよう、よろしく願いいたします。

体育館、校庭のトイレについては、特別教室の設置後に検討してまいります。

(2) 通学路の安全確保

(回答)

各校から要望が出されておりますので、個別に回答いたします。

(3) 全教室の冷房完備

(回答)

普通教室につきましては、全ての学校に設置しております。特別教室につきましては、利用頻度等を調査し、計画的、段階的に、令和2年度から令和5年度までに小・中学校25校に空調機整備工事を予定しております。御理解いただきますようお願いいたします。

(4) 学習面

(回答)

全児童・生徒への端末の整備ですが、国のGIGAスクール構想に則り、令和2年度中に一人一台の整備が完了しました。

令和3年度からは、段階的に、この端末を用いて、日々の授業や長期休業時等には家庭へ持ち帰り、学習に活用していく予定です。

また、通信環境のないご家庭へは、通信料は御負担いただきますが、Wi-Fiルータの貸出しが、令和3年度中にできるよう準備を進めています。

青梅市立第六中学校

- (1) 黒沢駐在所手前より柳川交差点までの街路灯は、現在オレンジ色のナトリウム灯が設置されており住宅街より暗く感じる。住宅街と同様にLEDへ変更願いたい。

(回答)

当該道路を管理している東京都西多摩建設事務所へLED化を要請したところ、順次実施していくとのことでした。

- (2) 災害時の避難場所となっている施設などのマニュアルに、新型コロナウイルス対策を盛り込んだ開設・運営の実施方法の記載や青梅市として想定訓練などを実施しているのか教えて頂きたい。

(回答)

新型コロナウイルス感染症などを踏まえ、災害時に避難場所を開設する際の感染症対策について記載した「災害時の(自主)避難場所・避難所の開設における感染症対策マニュアル」を作成しました。

市職員による新型コロナウイルスなどの感染症対策を踏まえた避難場所開設訓練を実施いたしました。

- (3) 小曾木街道への標識の設置・速度減速を促す路面標示について

(回答)

当該道路を管理している東京都西多摩建設事務所へ要請したところ、路面には車両の速度減速を促す標示を設置しているとのことでした。しかし、表示が薄くなっている箇所については、補修等順次対応していきたいとのことでした。

また、青梅警察署に要望を伝達したところ、東京都西多摩建設事務所と、今後協議していくとのことでした。

- (4) 旧岩蔵街道交差点の安全対策について

(回答)

当該道路を管理している東京都西多摩建設事務所へ要請したところ、車両の速度減速を促す路面標示が薄くなっている箇所への補修等について、順次対応していきたいとのことでした。

また、青梅警察署に要望を伝達したところ、路面状態などを確認し、今後対応してまいりますとのことでした。

- (5) 日影林通りの歩行者安全対策について

(回答)

消えかかっている外側線の補修を実施するとともに、カーブ手前に速度減速を促す路面標示の設置を行ってまいります。

- (6) 年々、夏の暑さが厳しくなっている。教室にはクーラーは設置されたが、理科室、美術室、家庭科室などの実技教科教室にもクーラーを入れて欲しい。特に理科室は他の教室より実験等で使用する機会も多く、生徒からも強い要望が出ているのでお願いいたします。

(回答)

特別教室の空調機設置につきましては、利用頻度等を調査し、計画的、段階的に、令和2年度から令和5年度までに小・中学校25校に空調機整備工事を予定しております。御理解いただきますようお願いいたします。

- (7) 体育館への冷暖房設備の設置について

(回答)

体育館のエアコン設置につきまして、現在、小・中学校への特別教室空調機整備を実施しております。

そのため、早急な体育館へのエアコン設置は難しい状況です。御理解いただきますようお願いいたします。

- (8) 学校給食について

(回答)

学校再開直後は、配膳や片付けの際に密にならず短時間で済むよう、主食・飲み物・おかずの3品に制限しての簡易給食となりました。

具体的には、盛り付けに時間をかけないよう、魚や肉の切り身などを個付けでの提供とし、栄養面では、パンを小麦粉重量で通常より10g程度増やしたほか、切り身も30g程度大きくし、油で揚げることでエネルギーの確保に努めたところです。

現在は通常の給食に戻っておりますが、献立作成においては、季節の食材を使い、日本各地の郷土料理や世界の料理を取り入れるよう心がけるとともに、生徒が喫食した時に満足できるよう、より一層工夫してまいります。

- (9) 修学旅行のキャンセル料について

(回答)

令和2年度については、公費（市）負担で支払うことといたします。